



みのり

発行所 金光教寝屋川教会

〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11

TEL 072-829-5129

Eメール koichiyasui@yahoo.co.jp

感謝の心を土台に信心を進め、
何事も金光様にお取次を願い、
おかげを受けていきましょう。

8月15日は終戦記念日。日本国民は、「たえ難きをたえ、しのび難きをしのび、……」との天皇陛下のラジオ放送を聞き、ポツダム宣言を受け入れ、無条件降伏し、それから戦後が始まりました。以来80年、戦後の復興はめざましく高度成長を経て、安定成長の世となり、現在の私たちの生活は贅沢を言わなければ衣食住にさほど問題のない暮らしができるようになりました。

しかし、世界ではロシアによるウクライナ侵攻で3年余り戦争が続いており、中東の紛争地域では食料が届かず、飢餓状態の人たちも多数おられます。また、私たち自身の生活も手元足元を顧みれば、誰一人問題のない人はいません。

金光教祖は苦難の道を歩まれる中で、信心を通しておかげを受けられ、「神と人あいよかけよで立ち行く」道が開かれました。「この方のように実意丁寧神信心いたしおる氏子が、世間に何ぼうも難儀な氏子あり、取次助けてやってくれ」との天地の親神様（天地金乃神様）のお頼みを受けられ、農業をやめて取次の業に専念されました。以後、この道によっておかげを受ける人が次々に生まれ、だんだんに日本中に広がり、遠くはハワイ、北米、ブラジルにまで助かりの輪が広がってきています。何よりもその



前教主金光平輝さまと現教主金光浩道様

働きの中心は御本部広前のお結界で教祖様以来、166年間6代にわたり教主金光様が日々に取次に専念し、ご奉仕くださり、ご祈念くださっていることにあります。

昨年7月21日に五代金光平輝様がお亡くなりになりました。金光教のラジオ放送（毎週木曜日、午前4時35分からABC放送で7分間）で、金光様が亡くなられた日と数日後に行われた金光学園高等学校野球部の活躍を現教主金光様の弟、金光清治先生が紹介されていました。準々決勝戦で清治先生のご子息がヒットを打ち、ホームベースを踏み、その試合に勝ちました。それがある新聞に「三壘から金光、生還」との見出しで記事になったということでした。その朝、五代金光様のご遺体に丁寧に挨拶をされ、祈りをもって野球に臨まれたご子息の活躍の裏に、五代金光様は亡くなられて後も、いよいよ取次の神として生還されたのだと話されていました。この話を私はとても印象深く拝聴し、私たちもまたそうしたおかげを受けていくと思わせて頂きました。（教会長）

よりよく御用のバトンタッチを

前教主金光平輝様一年目のご命日、7月21日に奇しくも私自身、おかげを受けることができました。6年前、102歳で亡くなった母親がお世話になったことへの恩返しのつもりで、民生児童委員を引き受けました。ボランティアとはいえ他人のためだけでなく、御用を通して自分が支えられ、数々の研修を受け、高齢者のためにも学ぶことが多々ありました。

民生児童委員の定年は75歳で、任期は3年。私は2期6年を終え、既に定年を超え、次の人との交代が必要でした。7月末までにどうしても次の人を決める必要があり、6月にご本部参拝した折、教主金光様にそのことのお礼とお願いをさせて頂きました。必ずおかげを頂けるものと思い、安心の気持ちにはありましたが、なかなか次の人がみつかりませんでした。代わってもらえそうな人に次々と声掛けしましたが、いっこうに良い返事はいただけません。仕事が忙しいからとか、高齢の親の世話が必要だからとか、家に病人を抱えているからとか、体力的に無理とか、ことごとく断られてばかりでした。民生児童委員をして良いことは多々あるものの、その説明をするまでに断られてしまいます。

そういう中で、7月19日は地元の盆踊り大会でボランティアの人も多く、御用しながら話せる機会があり、この人ならと思う人に、時間をかけて説明できました。

ある男性はあいづちを打ってよく話を聞いて下さり、それだけでも助かりました。念を押してお願いすると、「自分は仕事が忙しく無理」と断られましたが、それなら「奥様ならどうでしょうか」と尋ねますと「話してもらってもいいですよ」ということだったので、ご自宅に伺いますと言い、訪問したのが7月21日でした。

民生児童委員の主な御用は、65歳以上の一人暮らしの人の支えになること、リストを作った

り、見回ったり、時に集会を持ったりすることが中心です。また、児童委員ということで、月に一回、学齢期に達しない幼児に向けて、楽しく遊んだり、歌ったり、簡単な工作をしたり、紙芝居を見たりして、親子やスタッフが一緒に楽しむ集会を持っています。幼児と共にスタッフもまた子どもに帰って、遊ぶことがどれほど元気を与えてくれることかと、私自身改めて感じたことでした。「可愛いと思う心が神心」と御教えにあります。一緒に遊んで、可愛さが一層深まり、それが他の人たちにも広がり、心が豊かになるような思いがしました。そのような体験を話しますと、よく分かってくださったのか、民生児童委員を快く引き受けてくださいました。それが、前教主金光様がお亡くなりになった7月21日のことで、真にありがたいおかげを蒙りました。

お道の御用においてもバトンタッチはとても大切です。信徒会、典楽会、少年少女会など教会の御用もよりよく御用のバトンタッチができ、次の方々が気持ちよく御用を進め、身代、人間、達者の上におかげを受け、世のお役に立ってくださることを祈り続けたいと思います。

（教会長）



鶴甲教会に参拝後、
美枝子先生の施設（すばる六甲）にて

第78回少年少女全国大会 （於：金光教本部）

8月9日（土）～10日（日）にかけて、御本部で開催された第78回金光教少年少女全国大会に8人（中高生4人、大人4人）が元気に参加することができました。

9日は、沙美海水浴場に行って軽く遊泳し、笠岡の民宿（斎藤荘）で小休止。夕刻より御本部の夜の集いに参加し、カレーライス、冷メン、かき氷など、連合本部ボランティアの皆さんによる心づくしの出店の食事を頂き、音楽隊によるパレードや本部広前階段を舞台にしてのダンスショーを観て、夕刻8時ごろに宿舎に帰りました。宿舎は古民家をリフォームしての一軒家で、8人が宿泊するには、ちょうど良い広さでした。て、ラーメン名

10日（日）は御本部広前では10時から月例祭があり、お広前は満杯で地下休憩所でご祭事を拝み、宣教を拝聴し、その後、つつがなく参拝できたことのお礼のお届けをさせて頂きました。11時半に、修徳殿前に集まり、中近畿のグループの一員として、雨天のもと、傘をさしながら行進しました。第五連合会からは四條畷教会も参加されていました。午後からは前教主金光平輝様1年の追悼式に参加し、予定していた行事に参加し、帰途は雨が強い中も無事に帰らせて頂きました。何かとお祈り添え、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。



秋季霊祭のご案内

昼間はまだまだ残暑厳しいものの朝夕の涼しさに秋の訪れを感じさせるこの頃です。暑さ寒さも彼岸までと言いますから、やがて穏やかな季節となることでしょう。まもなく彼岸の中日を迎えます。亡くなられた御霊様を偲び、感謝の真心で玉串を供え、ご祭事に臨みたく存じます。お繰合せご参拝のほどご案内申し上げます。



・前日の御用

九月二十二日（月）

九時～十一時半

※墓前祭は十時半より

・当日のご祭事

九月二十三日（火・祝）

午後二時より祭典奉仕



9月の予定

日	曜	教会行事	教会長、その他	日	曜	教会行事	教会長、その他
1	月	月頭祈願祭・14時	国勢調査説明会 10時半 保険福祉センター	16	火		西校区福祉役員会 10時
2	火			17	水		ひきこもり支援セミナー (14時、保健福祉センター)
3	水			18	木		
4	木			19	金		
5	金			20	土		
6	土	第五信心共励会 13時半・大阪センター		21	日		地域協働協議会 10時
7	日			22	月	秋季霊祭前日御用・9時 墓前祭・10時半	
8	月			23	火	秋季霊祭・14時	
9	火			24	水		だるまっこ・9時 定例会・12時半
10	水			25	木		みのり編集会議 10時40分
11	木			26	金		ボランティア部会 10時
12	金		小松病院受診・10時半	27	土		自治会管外交流会 民生定例会（市民会館）
13	土	月例金光大神祭 14時・霊祭打合せ	敬老祈念式典 9時半・市民会館	28	日		
14	日		大宅光子姫1年祭 14時（高槻教会）	29	月		
15	月		自治会敬老祝・11時 福祉資料作成・13時	30	水		

9月の霊神様（内は帰幽年月日）

池端留吉翁乃霊（1966・昭和41年9月4日）

村上タツ姫乃霊（1973・昭和48年9月5日）

竹本シズ姫乃霊（1993・平成5年9月15日）

竹田光男彦乃霊（2007・平成19年9月17日）

宮本清彦乃霊（1991・平成3年9月19日）

加藤俊朗彦乃霊（2017・平成29年9月20日）

柴田伊三郎彦乃霊（1972・昭和47年9月22日）

9月のお誕生

安井佑飛様、永田兼治様、田村晃睦様、永田延妃様、松ヶ角暖真様、

永田雅昭様、増満久美様、上田原輝様、三浦真理子様、田島聡真様、

古川広道様、亀口政利様、角谷真子様 村瀬淳一郎様、

お誕生日おめでとうございます！



